

議会だより

No.65
2011.8.1

さとしょう



岡山県 里庄町議会

あ〜、おいしかった。

- 墓地用地取得1272万円 (2)
- 町財政への負担は (町営墓地) (5)
- 小・中学校にエアコンを (議員発議) (7)
- 町政を問う (6人が登壇) (10)
- シリーズいきいきサロン紹介 (屋中分館) (16)

6月

定例会

平成23年第4回里庄町議会定例会は、6月6日から10日までの会期で開かれました。議案は条例の一部改正1件、平成23年度の補正予算2件、契約案件1件、町道路線の認定2件、人事案件2件、繰越計算書の報告5件などが上程され、すべて原案どおり可決しました。また、小・中学校にエアコン設置を求める議員発議が提出されました。なお、一般質問では6人が登壇し、町の姿勢や考えを問いました。

町営墓地用地取得に

1272万円

大奈良地区に町営墓地用地として1万2726㎡の面積の土地を取得します。

地目は保安林で、取得金額は1㎡あたりの単価1000円、総額1272万6000円です。

里見229号線工事

3800万円追加

3800万円の追加補正を行い、道路新設改良費の合計は2億218万8000円となりました。社会資本整備総合交付金内示額の増加により、里見229号線第3工区

の工事の進捗を図ります。追加の工事内容は、補強土壁の完成、ガードレール、ガードパイプの設置、三寺池堤防部ブロック積み擁壁です。



災害用備蓄品

東日本大震災関連

税条例の二部を改正

東日本大震災によって住宅や家財等の資産について受けた損失の金額は、納税者の選択により、平成22年分の雑損として、平成23年度の町民税から

控除とすることが可能となりました。

また、雑損控除の繰り越し期間が、3年から5年に変更されました。住宅ローン控除の適用

を受けていた住宅が、東日本大震災により住めなくなった場合にも、控除対象期間の残りの期間について、引き続き控除の適用が可能となりました。





確かな学力のために25万円

通常学級の特別支援教育指導充実事業にかかわる費用です。

この事業は、確かな学力を身につけるため、モデル校の里庄中学校を中心として、小学校と中学校が連携を図りながら、すべての生徒がわかる喜び、できる喜びを感じる、

個に応じた学習支援の方法を工夫した授業づくりを目指して取り組みます。

災害用備蓄品の補充

162万円

町の災害用備蓄品である毛布300枚、簡易トイレ便座6個、薬剤入りシート600個を東日本

大震災の被災地へ救援物資として送りました。この補充を今行います。

土地利用調査検討等業務

400万円

人口減少・少子高齢化や環境負荷の増加などの社会情勢の変化に対応し、効率的な都市づくりに向けた検討を行うとともに、

対応していく上での課題の整理分析等を行う業務を委託し、今後の土地利用の在り方検討の資料とするものです。

鴨方都市計画区域（現在は浅口市の一部と里庄町全域）のあり方について浅口市と共同で検討を行うために、土地利用や建物の現況調査を行うとともに、社会情勢の変化に

6月補正の結果

会 計 名	補正額 (補正後の予算額)
一 般	5390万円 (39億1489万円)
後期高齢者医療特別	257万円 (1億2693万円)

質 疑

▼229号線工事請負費増額の詳細は
町営墓地、町財政への負担は

一般会計補正予算について2人、町営墓地用地の取得について3人が質疑を行いました。

一般会計補正予算

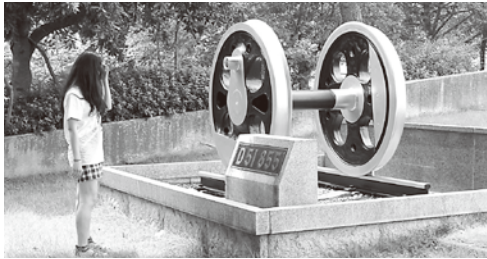
動輪塗装代が高過ぎる

高田議員 歴史民俗資料館公園にあるD51動輪の塗装やりかえに、37万円は高過ぎるのでは。

教委事務局長 ケレン作業を行い、さび止め塗料等の下地作業後に鉄部の塗装上塗りをする。

また、動輪のレールも塗りかえる。

D51動輪の説明プレートも字を見えやすくする。



D-51の動輪

蛍光灯安定器処理の数と会社は

眞野議員 140万3000円のPCB廃棄物処理委託料及び運搬委託料とある。

処理施設は、日本環境安全事業株式会社で政府全額出資の特殊会社である。

蛍光灯安定器の処理が必要なものは何本か。どのような業者に委託するのか。

眞野議員 今後、該当する器具が出てくるのか。
総務課長 現段階で、把握しているPCB含有の安定器はない。

どの業種へ還付するのか

高田議員 過誤納還付金及び加算金800万円は、どの業種への還付なのか。
町民課参事 製造業で、

特定の会社名は言えない。5月31日に把握できたが、現行予算では対応できないため。

229号線工事請負費増額の詳細は

眞野議員 町道229号線の工事請負費の増額3800万円の詳細を。

農林建設課長 このたび

国から3800万円の増額を受けることとなった。工事内容は、三寺池の

補強土壁についてのテールアルメ工法での完了、ガードレールやガードパイプ等の安全施設の施工。舗装以外の工事が完了するという見込みで現在進めている。



229号線の箱型函渠工事

町営墓地用地の取得

墓地の専門家を入れて吟味すべき

仁科議員

町営墓地の用地として、大奈良に12700㎡を買収する案となっているが、保安林であるにもかかわらず、一反当たり100万円となっている。町道の一般的な買取基準価格に比べ、高いと思う。

また、取得面積も墓地の計画面積5600㎡の倍以上となっているが、どのような経緯なのか。

町民課長 地権者2人との話し合いで、町営墓地の必要性、単価について説明し、理解を得た。

面積についても話し合いの中で全筆を取得することとなった。残りの土地は保安林として残す。

仁科議員

総事業費は、現段階では幾らになる見込みか。製造単価が㎡10万円を越えることはないか。

か。

町民課長

詳細設計が決定されてからの試算となる。

仁科議員

一般財源を充当することはないか。このような事業は、独立採算で行うべきものと考えるが、町長の見解を確認する。

町民課長

一般財源を充当しないように検討し、また、まちづくり交付金の活用も考える。

仁科議員

基本計画では、駐車場が16台分で、墓地300区画に対して少な過ぎる。その他の施設についても、この地域の墓地の専門家を入れて吟味するべき。

町民課長

今後の詳細設計の中で、段階を踏んで検討する。

通常はだれも手をつけない所

高田議員

この土地は、土砂流出防止の保安林である。

通常民間はだれも手をつけない所であるのに、㎡単価10000円は高い。他の所を買う考えはなかったのか。

町長 いろいろな現場

を全て見て検討した結果、県道に面している、平地がある、買える可能性があるとということになった。

適正な価格で地権者の方に気持ちよく納得してもらって交渉が成立した。



墓地予定地近辺

町財政への負担は

岡本議員

墓地の費用はすべて、その墓地を買う人、受益者で負担してほしいとの要望があるが、どうなのか。

町財政への負担があるとするれば、どれぐらいなのか。

町長

町の一般財源を使わず、かつ安く売り出すために、まちづくり交付金の利用を検討し、交渉段階に入っている。

全額を受益者で負担することが無理な場合は、若干の町費を入れることも考えられる。

岡本議員

若干では答えにならない。

町長

まちづくり交付金は県に交渉中で、はっきりとは答えられない。

また、事業費もおおよそ1億5000万円と言っているが、詳細設計ができないとはつきりとは言えない。

したがって、はつきりとした額はわからない。

岡本議員

町財政への負担の可能性があるのなら、これぐらいならやむを得ないという額を聞かせてほしい。

町長

このくらいだったらいいだろうと、皆さんの納得を得るところで協力してほしい。

あえて言えば、2割ぐらいまでと考えている。

農業委員に

岡村議員を推薦

異議あり

高田卓司 議員

農業委員会の議会選任委員は、農業に関して学識経験有する者から選任されることとなっている。

今回の候補者は、団地に住んでおり、農業もしておらず、農業に関して学識経験があるとも思えない。

賛成 8 対 反対 1 で
可決!!

固定資産評価審査
委員会委員に再任

里庄町大字新庄2662

江原睦美

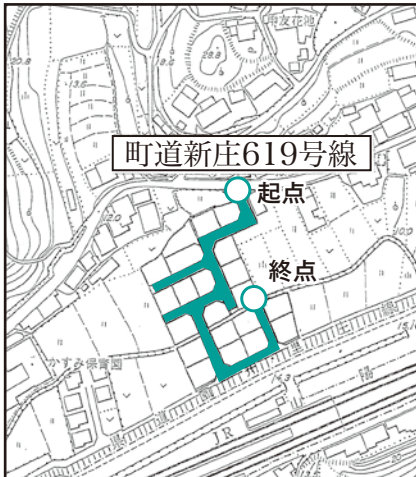
2路線を町道路路線に認定

委員長報告

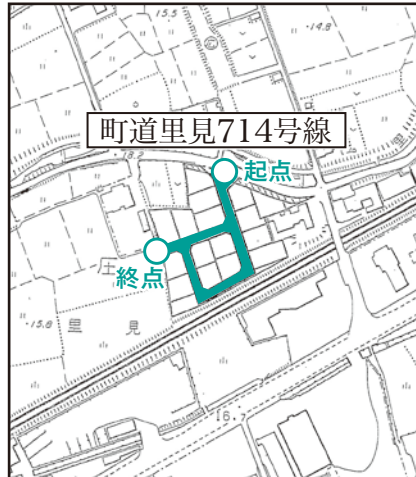
建設福祉委員会

委員長 高田 卓司

委員会に付託された2路線は、住宅開発により新たに町道として認定するもの。町道とする必要性、開発の申請状況、検査済書などを確認した結果、全会一致で認定した。



才申地区



松尾地区

臨時会

5月9日及び7月8日に、里庄町議会臨時会が開かれました。

5月9日の臨時会は、人事案件のほか、専決処分承認3件と条例の一部改正が、7月8日の臨時会は、一般会計補正予算と工事請負契約の変更1件が上程され、いずれも原案どおり承認、可決しました。

5月9日

出産育児一時金

42万円を恒久化

専決処分の承認は、老人医療費給付条例の一部改正、国民健康保険条例の一部改正、平成23年度一般会計補正予算の3件です。

妊産婦の経済的負担を軽減するため、平成21年10月1日から暫定的に引き上げられている出産育児一時金の支給額（42万円）を、23年4月1日から恒久化することについて、承認しました。

また、東日本大震災

の復興支援として職員1名を被災地（大船渡市）へ派遣するための旅費の追加補正を承認しました。

国民健康保険税について、基礎課税限度額を50万円から51万円に引き上げる等の改正を行いました。

7月8日

229号線工事請負
契約の工事追加変更

過誤納還付金及び加算金700万円と、東日本大震災の被災地（大

船渡市）への職員1名の派遣旅費を追加補正しました。

財源は、いずれも繰越金です。

また、町道里見229号線新庄川箱型函渠・補強土壁工事について、平成22年度に締結された工事請負契約の変更（請負金額976万円の追加）の締結を議決しました。

変更内容は、地盤改良工事の追加、コンクリート構造物取壊し工法の変更、仮設材賃料期間の延長です。

仁科議員は繰越金について、高田議員は繰越金及び過誤納還付金について、岡本議員は工事請負契約の変更についての質疑を行いました。

発議

小・中学校にエアコン設置を

岡本雅道議員

昨年夏は記録的猛暑となり、里庄町においては子どもたちが学ぶ教室の温度が、最低でも30度を超え最高は38度に達する日々が連続し、また今年の冬は特に寒さが厳しく、健康面でも学習面でも困難が生じた。

今後も異常気象が続くことが憂慮されることから、教室に冷暖房

設備の設置による教育環境の改善が急務である。

子どもたちや保護者からも冷暖房設置に対する強い要望が寄せられており、早急に取り組むべき重要課題である。

里庄中学校、小学校の教室に冷暖房設備の速やかな設置を強く要望する。

質疑

発達を促す環境づくりをどう考えるのか

小野議員 エアコンの効いた部屋で、長時間過ごす体温調整をする機能が働かなくなるとい

研究結果がある。また、汗をかかない若者が増えていくという報告もある。四季の変化に対応でき

るように、我々は工夫して生活してきた。この工夫が、学校教育の基本である。

学校の食堂には、冷暖房設備がある。

子どもの発達を促す環境づくりを私たち大人が考えるべきと考える。町長の考えは。

町長 私自身も昨年の10月時点では何とかしなければならぬという考

えを持っていた。

しかし、幼稚園、小学校、中学校に冷暖房を設置すると1億円以上かかり、また電気代と保守料で、年間500万円くらい必要とわかった。

また、成長過程にある子どもたちが窓を閉め切ったクーラーの中でずっと授業を受ける事が、本当にいいことなのかという疑問もわいてきた。

全教室につけるのか

高田議員 全教室につけるように要望するということなのか。それとも低学年だけなのか。

扇風機がついたばかりのところもあれば、暖房設備に至っては全教室にある。

内容が、いまひとつ分らない。

岡本議員 いつも勉強している普通教室が、小・中学校合わせて約33教室

ある。ここへの設置を要望する。

設置費用の概算は、約6000万円弱。

実際の電気料金は30数万円と試算、このほかに300数十万の基本料金がかかるが、必要なときだけ契約を結ぶ計画。教室の温度が30度以上で60日、1日5時間程度の稼働を考えている。

ここが反対!!

若いころの鍛え方が大切

辻田勝之議員

自然の仕組みの中で、体の組織、器官が発達をしていく。80年間の生涯を終えるためには、若いころの鍛え方、内面器官の充実が非常に大切。

成長期の子どもたちには暖房は必要だと考えるが、冷房は現在の扇風機での対応と気象状況を見ながらでよい。

さまざまな生活環境の中でも耐え得る体を、組織、機能をしっかりつくり上げて成長し、立派な社会人となることを希望し、冷房について反対をする。

賛成

反対

5 : 4 で 可決!!



町長に

意見書を提出

議長あいさつ



里庄町議会議長

松原 繁之

このたび、議員皆様方のご推挙により議長の要職につくことになり、その責任の重さを痛感いたしております。

浅学非才ではありますが、議長として公正かつ円滑な議会運営に全力を傾注してまいる所存であります。

現在我が国は、長引く経済の低迷と、東日本大震災の復興に取り組む中、国難とも言える試練に立

たされております。

里庄町では、行財政改革を推進する中、簡素で効率的な事業を展開しながら経費節減に努めており、町議会では、皆様のご意見を町政に反映すべく、執行機関との抑制と均衡を図りながら最良の選択に努力いたします。

さらには今日、時代に対応した議会運営が求められており、町議会としても議員自ら研鑽を深め、

議会改革や活性化に取り組みながら、議会本来の機能強化を図りつつ、開かれた議会運営に努めて参ります。

今後とも魅力ある里庄町の実現に向けて議員一丸となり、町民の皆様と共に目指して参りますので、さらなるご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



里庄町議会副議長

眞野 博文

—— 請願は総務文教委員会に付託 ——

公正かつ適切な教科書採択の実施を

要 旨

平成 24 年度から 4 年間使用される中学校教科書が、教育委員会によって本年度採択される。

郷土の明日を担う中学生のため、豊かな情操と道徳心、伝統文化の尊重や我が国と郷土を愛する等の教育基本法の目標に最も沿った教科書を採択するよう決議し督促することをお願いする。

閉会中の継続審査となりました。

子どもの医療費無料を中学校卒業まで求める意見書

採択（平成22年6月15日）

執行部の請願処理経過及び結果

次の理由から措置しない。

平成 22 年度から小学校卒業まで医療費の無料化を実施したばかりであることや既に保育園保育料の 2 人目からの無料化、幼稚園使用料の無料化等の子育て支援策、幼、小、中学校における学校生活支援員制度の充実など教育施策も実施している。

今後さらに少子高齢化対策に多額の財源が必要とされる中で、町税が減収傾向にあり財政的な観点から実施が困難なこと、子育て支援に限らず「受益者負担の原則」の観点から、受益者が一定の経費の負担を行うべきと考えているところであり、請願を実施することは当面困難であるという結論に達した。



常任委員会

総務文教委員会

委員長 岡本 雅道
副委員長 原田 順夫
委員 平野 敏弘
委員 辻田 繁之
委員 松原 繁之

建設福祉委員会

委員長 高田 卓司
副委員長 仁科 英磨
委員 岡村咲津紀
委員 小野 光三
委員 眞野 博文

議会運営委員会

委員長 辻田 勝之
副委員長 高田 卓司
委員 岡本 雅道
委員 岡村咲津紀
委員 眞野 博文

議会広報編集委員会

委員長 眞野 博文
副委員長 小野 光三
委員 岡村咲津紀
委員 仁科 英磨

里庄町監査委員

平野 敏弘

傍聴に来ませんか

本会議は一般に公開され、どなたでも傍聴できます。
自分の選んだ議員の活動や町の方針、考えを知ることができる場です。

詳しくは、議会事務局までお問合せください。

岡山県西部環境整備施設組合
(燃えるゴミを扱う組合)

組合議会議員 平野 敏弘
辻田 勝之

岡山県西部衛生施設組合
(斎場・し尿・不燃物ゴミ等を扱う組合)

組合議会議員 平野 敏弘
岡本 雅道

岡山県西南水道企業団
(上水道のことを扱う組合)

組合議会議員 辻田 勝之
小野 光三

岡山県西部地区養護老人ホーム組合
(神島にある養護老人ホームの組合)

組合議会議員 松原 繁之
眞野 博文

笠岡地区消防組合 (常備消防の組合)

組合議会議員 高田 卓司
仁科 英磨

井笠地区農業共済事務組合
(3市2町で構成される共済組合)

組合議会議員 原田 順夫
岡村咲津紀

近隣の市町と共同で行政サービスの一部を行うことを目的に設けられた組合です。

一般質問

町政を問う

町政に関して議員が質問を行い、新たな施策の提案や意見を述べ、時には是正を求め、町政をより良い方向へ導くものです。

里庄町男女共同参画基本計画の取組は

企画商工課長／目標値に達していないものが多い

岡村議員 2008年に里庄町男女共同参画基本計画が策定され、計画期間が残り1年間となった。これまでの4年間の取り組みをたずねる。

基本計画の17項目中、現在までに達成した項目は何項目あるのか。

委員会は前回開催したのか。職員研修をどのように取り組んでいくのか。男性のための研修会の実施機関や時期は。男性職員、夫の育児参

加休暇5日以内とあるが、取得を勧めるのか。

審議会委員の公募は、具体的にどうするのか。

企画商工課長 広報紙や生涯学習講座による男女共同参画の周知と啓発活動などを行った。

達成状況は、17項目中5項目。依然として目標値に達していないものが多い。

委員会は、まだ開催していない。

職員研修は、計画策定以降行っていない。

男性のための研修会として、男性料理教室を3回行った。

男性職員の育児参加休暇5日間の完全取得は、達成できていない。

公募は、男女共同参画審議会委員を想定している。



岡村咲津紀 議員

DV被害者相談窓口の設置を

企画商工課長／窓口設置はできないが対応する

岡村議員 DV被害者を完全に保護することができる相談しやすい整備された窓口が必要。

町内1カ所の設置という目標もある。被害者も年々増加しており、設置してほしい。

町民に対してDV被害者サポート養成講座等の開催も検討して欲しい。メディアによる性や暴力的表現をチェックできるメディア・リテラシー教育が必要。研修会の実施を検討しないのか。

企画商工課長 DV被害者の相談窓口は、本町は小規模であるために、設置や専任の相談員を配置することは困難。

これまで、DVに関する相談は、健康福祉課にあったが、岡山県の女性相談所の電話相談を勧めたり、個別対応を行っている。被害の内容により、警察や弁護士と連携を図

りながら対応する必要があると考えている。窓口の設置はできないが、対応はしていく。

DV関係の研修が必要ならば今後検討する。リプロ・ヘルスは勉強不足。研修会等が必要ならば、考えていく。



元気な声で!!

岡本 雅道 議員



エアコン設置の要望は

町長／町民の各層の意見も参考に

岡本 議員

昨年夏は記録的猛暑となり、子どもたちの学ぶ教室の温度が37、38度と煮えるような日が続いた。

今年扇風機を設置する予定だが、どのぐらいの効果があるのか。

町の公共施設でエアコンがついてないのは小・中学校の教室だけ。プラットホームの改修事業の7000万円があれば、エアコンは設置できた。なぜ後回しにしたのか。子どもたちや保護者など、要望をどのように受けとめているのか。

教育長

教室の窓をあけ、扇風機で教室の空気を動かすことで教室内を過ごしやすくすることができるとしている。

町長

駅プラットホームの改修費用は、国からの地域活性化・経済危機対策臨時交付金で、使用道が限られていた。また最優先課題として取り組んだ。

保護者から要望が出ているのは知っており、教育委員会でも検討した。子どもの将来の健康面や財政的な理由で扇風機で様子を見させてもらう。保護者の意見だけでなく町民の各層の意見も参考に対応していく。

ヨーロッパ派遣は教育差別

町長／中学生の励みになる

岡本 議員

学業優秀な9人の中学生を仁科博士の足跡をたどりヨーロッパに派遣する事業を行っている。

勉強のできる生徒だけを選んでの研修は教育の差別ではないかとの声もあるが、どうなのか。全員が仁科博士の研修事業に参加するという考え方に変えたらどうか。9人を選考すること自体

教育長

派遣されたことでその後も努力を続け、それぞれに頑張っている。また、海外派遣に行くことを目標に精進努力している中学生もいると聞いている。成果は上がっており、差別的であるとの認識はない。

不透明な職員採用

町長／やまづいとは切ない

岡本 議員

募集せずに消防団長が、仁科会館の館長として採用された。いつになったら公平な職員採用がなくなるのか。

これまでの不透明な採用には、裏取引があるという声もある。どうなのか。

町長

一つの目標になり、中学生の励みになる。全員参加については、仁科博士生誕記念日に科学講演会を毎年12月に行っている。夏休み中に理研セミナーも仁科会館で行っている。

町長

前館長から退職の申し出があり、後任を探していたところ、適任と思われる人がいたので、採用した。裏取引など、やましいことは一切ない。

必ずしも公募することが適する人を得られるとは限らない。

一般職の採用は公募後、試験を行い採用している。臨時職員の採用もできるだけ公募しているが、短期雇用の場合は、以前採用していた人をお願いすることはある。

消防団長と館長を兼務することは差し支えない。

総務課長

前の職場に問合せをするつもりもない。問合せをしたと言った覚えもない。消防団長としてのリーダーシップと判断力と責任感、行動力、それと履歴書により総合的に判断した。

子や孫に借金が残せない

町長／慎重な対応を考えている

平野 議員 国では、東北大震災、福島原発事故の復旧や多額の赤字国債も抱えている。

町としても、これから、補助金等が減額されることを想定した予算執行が求められる。配慮を欠いた財政運営での借金を子や孫に残せない。このことの答弁を求める。

下水道は接続して初めて価値がある。財政を圧迫する事業は、緩やかに進めてもらいたい。また、場所によっては合併槽を優先すべき。

総務課長 国の動向を注視し、必要であれば迅速に対応したい。

町長 財政的な心配は、私も同様。負担が一番大きい公共下水に

ついて、補助金・交付金を減らすという方向が打ち出された場合は、ゆっくりにやるということもある。

合併浄化槽との関係は今も工夫している。

先が見えない状況になったので、慎重な対応を考えている。



うまく踊れるかな

少しでも基金を積み立てるべき

町長／積み上げるのは難しい



平野 敏弘 議員

平野 議員

町長は、年々基金を取り崩している。公共事業推進のためなら基金がゼロになっても構わないと、思っているのか。

これからは、何かを縮小して、少しでも基金を積み立てるべき。

また、里庄町は優良企業がが多く裕福だとよく言われるが、今は経済の低迷で、そうでもない。町民に財政状況を知らせる手段として、財政時計を設置することも考えたかどうか。

町長

現在30億円の基金が、20億円、25億円になった場合には事業のスピードを落とす。しかし、今は公共下水と229号線という2つ

高齢者等に役場や社協で配達サービスはできないか

健康福祉課長／今年度からひとり暮らしの高齢者などに町が費用の一部を補助

平野 議員

町内の小売店は減少し、高齢者など車に乗らない人は、日々の食料品の購入にも苦労している。その対策として、例えば役場や社協が希望者から注文を取り、町内業者に発注し、配達することができれば、業者もプラスになると考えるが、どうなのか。

健康福祉課長 今年度から高齢者配食サービス事業を開始している。現在10人の方が利用している。

提案の配達については、生活協同組合や町内の小売店の約半数が行っている。行政が事業者間競争に介入することは避けた方がよいと考えている。

町長

229号線が開通した折には、その沿線に中規模のスーパーを誘致したい。

の大きな将来への投資を行っている。基金を積み上げるのは難しい。バランスをとりながら、基金の残高を見ながら、将来に大きなツケを残さない形でやりたい。財政時計の設置は、考えていない。

仁科 英磨 議員



ダイヤモンド方式の乗合い タクシーを走らせては

町長／検討したが、問題がある

仁科 議員

交通弱者の足の確保のため、中古の小型乗用車1台を買い、低料金、ダイヤモンド方式で、乗り合い型のコミュニティタクシーを町内に走らせるという提案をしたい。

乗り合いということ、地域の人たちの触れ合いの場になる。また、3人乗れるので、省エネにもなる。

始める前には、詳細な調査が必要である。

ニーズ調査や先進地の事例調査も行い、利用率が高くて、一定の収入の確保ができ、一般財源を余り持ち出さなくても運行できる仕組みを、考えることが必要。

担当組織を役場の庁内に置いて検討してほしいが、町長の考えは。

企画商工課 課長

コミュニティバスやダイヤモンド型乗り合いタクシーの導入について検討したが、道路運送法上、関係機関との綿密な調整が必要である。

現時点で、ダイヤモンド型乗り合いタクシー事業をする計画はない。

町長

病院等に通うためにタクシーを利用していることは把握しており、社協を中心に検討した。

運送法上の問題や地域のタクシー業者の問題、町境をまたいで運行するときの難しさがある。

運転手は誰がするのか、委託する場合はタクシー業界に委託できるか、料金を3000円や2000円とか細かくした場合、事務はだれがするのか等いろいろ問題がある。

お年寄りの人が予約の電話をすることも難しい。

いろいろ調査した中で、本当に困つてどうにもならないという人は余りいない、というデータもある。

何でも行政に頼むというのは問題がある。

できる限り、家族で、地域の人で、やってほしい。その上で、低所得で、ひとり暮らしで、条件の

悪い人にはタクシーチケットを渡す方が効率がよい。

実際には、最初の想定ほどうまくいっていないという近隣の状況もある。里庄町は小さい町で個人の意見も耳に入る。各個に対応する。

大規模地震への備えを 考え直す必要はないか

総務課長／県の動向を踏まえながら一層の強化に努める

仁科 議員

放射性物質は、放射性ブルームということで、雲に乗り風に流されて、相当長距離まで飛んでくることもあると聞いている。

町は、福島原発事故による汚染の心配はないのか。

四国沖の南海地震は、今後30年の間に、50%の確率で、紀伊半島東南部の東南海地震は60%の確率で、起きる可能性があるといわれている。

町の、大規模地震への備えはどうなっているのか。

今回の大震災を教訓に、対策を考え直す必要があると思うがどうか。

総務課 課長

県による観測結果では、県内はごく微量で、人体への影響はないと発表されている。

南海地震等が起きた場合、町では、震度5強から6弱の地震が予想されている。

町では、災害時の避難方法や、危険箇所等をまとめた防災ハンドブックを作成しており、町内各戸へ配付している。それには、揺れやすさマップも入れている。

避難所となる小・中学校や、対策本部の活動拠点となる役場庁舎の耐震工事も完了している。

非常用食料、マンホールトイレ、毛布、ブルーシートなどを備蓄している。

地域自主防災組織の育成も図る必要がある。

県の防災計画を踏まえながら、地震対策の一層の強化に努めたい。

農地の再生事業は続くのか

町長／耕作放棄地を
放っておくことができない

高田 議員 町内には、農用地区域内に耕作放棄地が122haある。国・県から補助を受け、池田地区の農地が再生されている。町が150万円を補助し、トラクターを買っているが、残りはどこから出たのか。

担い手育成支援協議会の事務所はどこで、メンバーや費用等はどうしているのか。

池田地区の作業道は、町がいくら負担したのか。今後予定の津江、干瓜地区でも作業道をつけるのか。

これから放棄地になるところはどのように考えているのか。

農林建設課 参事 トラクター購入費用の残り100万円は国の補助金。

協議会窓口は農林建設課にあり、委員は認定農業者と農協及び行政の関係者で、報酬は1回が5200円。

作業道は、町が253万円を負担して整備した。津江、干瓜地区でも、必要であればできる限りの支援を行う。

計画地区以外であつても農用地区域内の耕作を考えている農業者からの申し出があれば、農地への復旧を行いたい。

農地は本来、所有者が保全管理するべきもの。管理ができない場合、耕作を請け負う農業者に無償で貸し出すようお願いしている。

町長 現実に耕作放棄地があり、放っておくことができない。



高田 卓司 議員

補助金があり協力者もいる。理解して欲しい。

農用地区域とは——
農業に利用すべき土地として農業振興地域内に設定された土地区域のことです。
農業に関する様々な支援を受けることができる一方、農業以外への利用が制限されています。

マコモタケの特産品化は

農林建設課参事／成果が
上がるよう支援

高田 議員 22年度に町の指導で有志がマコモタケを耕作している。

町は特産にするというが、その考え方は。今後の投資額は。

農林建設課 参事 特産品化については、生産者ともマコモタケ部会が協議しながら、成果が上がるよう積極的に支援していく。

今後は、部会に10万円、看板代に10万円、協議会の運営費やトラクターの管理費等に50万円を補助する予定である。

トラクターの保管場所、作業や研修ができる規模のプレハブの建設も考えている。

町長 ザブ田で何ができるかという中で、マコモタケになった。



池田地区の作業道

民間宅地開発の指導を

農林建設課長／指導要綱に基づき指導

高田 議員 宅地開発に伴い、いろいろな問題が起きている。
特に河川には、今後修繕、清掃など、維持管理の上で道路が必要となる。幅員が50cmか1mの道路を残すよう強く指導すべき。できるなら条例を作るべきである。

農林建設課 課長 3000㎡を超える開発は、都市計画法で県知事の許可がある。1000㎡から3000㎡以下は、町の開発事業の指導要綱に基づき指導を行っている。

水路の維持、管理道路に関する基準や条例については、町の指導要綱で対応していき、条例の制定は考えていない。

マコモタケとは
イネ科の真っ白な食物です。カロリーが低く、食物繊維、カリウム、ビタミン、ミネラルを多く含み、血圧降下、浄血作用、便秘緩和などに効用があるとされています。

辻田 勝之 議員



国土調査の進捗状況は

国土調査室長／計画通り進んでいる

辻田 議員

国土調査の進捗状況はどれくらいか。完了の見通しや見込み、筆界未定の筆数は何件か。官地との接点についての問題点はどうか。また、地籍、境界がはっきりすれば税は増えるのか。

国土調査室長

浜中地区は全域完了している。現在、新庄地区と里見地区の一部を調査中である。

里庄町振興計画の目標としている平成34年度に町内全域の調査を完了させたい。

筆界未定の数は35件、156筆である。

官民界の筆界未定は、土地所有者とその土地を管理する機関により確認を行う。管理する機関は、国土交通省、岡山県、里庄町である。

町民課 参事

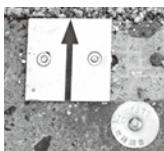
地籍が減少した場合は、減少後の地籍で課税する。増加した場合は、未調査地区との均衡上、町内

全域の国土調査が終了するまで調査前の地籍で課税する。

国土調査が未実施の地区でも、固定資産税の課税の公平を期するため、航空写真等により土地の現況地目の把握に努めている。



国土調査事前説明会（殷迫公会堂）



境界標



震災と町づくり

健康福祉課長／日頃の準備が必要

辻田 議員

東日本大震災の被災者支援は、何日間、どのような団体で、どここの街で活動したのか。

被災地の生活環境や家庭、集団、学校、教育関係、避難所での衛生面や、避難所外での健康面等の状況は。

里庄町で、災害の心構え、その他、参考になる事について町民にメッセージを。

健康福祉課長

5月1日から7日まで、岡山県保健師チームに参加し、岩手県大船渡市で活動した。

そこでは、避難所で150人程度の人が生生活し、段ボールに毛布1枚だけのところで寝起きをしていた。

子どもや高齢者、車いすが必要な人、障害者の人など、いろいろな人が

一緒に生活している。

子どもたちは、そこから保育園や学校に通い、小さな子どもには、だれとなく声をかけ、不自由な方には自然に周りの人が手助けを行っていた。

中学校のグラウンドに仮設住宅が建設されていたので、運動するところがなく、ほかの地域から多くの生徒を受け入れていたので、勉強するのがやっとという環境であった。

衛生面は、体育館に洋式トイレが無く、ポータブルトイレを3台置いて共同で使っている状況であった。入浴は、自衛隊の入浴車や、近くの温泉地から送迎バスが来ていた。

強く感じたこととして、大きな災害が起こったときは、日ごろからの準備が大切である。病気になる人は、薬や

病気について記録し、ほかの人にもわかるようにしておくとい。

家族や職場や地域で避難場所や避難経路について話し合っておく必要がある。

岡山県は、幸いに災害が少ない地域ではあるが、東北の人々も予想していたので、これを教訓にしておき、これを教訓にしておくことが必要である。

シリーズ いきいき サロン紹介

第17回

屋中分館「あじさいの会」

代表 赤木知司

サロン「あじさいの会」の前身は、平成18年11月地区での敬老会の時に始めた2カ月に1回の「誕生会」でした。

そしてサロンとしての正式発足は、平成21年9月で、会場は鴨方のまちや公園です。

今年の5月で11回を迎えました。毎回誕生会は欠かさずに行事に盛り込んでいます。食事をした後のお喋り、そこには自分の近況、健康状態の相談、ご近所の情報交換、料理から手芸、菜園、花づくりまで経験からくる知恵袋交換などなど・・・お腹満腹の後はお喋りも快い気分ではずみずみ。

会場は諸々で、屋中公会堂、鴨方まちや公園、隣接地区のうどん屋さん、ハピータウンの食堂など多彩です。

主な行事としては、和

紙やテープを使った「おひなさま人形づくり」細かい作業でしたが、お互いに手伝いあいながら、かわいい作品が出来上がりました。

経験者を招いての指導のもと「牛乳パックを使っての椅子づくり」は、牛乳パックを集めることから始まるプロセスが大きかったと思います。皆で一つのものを作りあげるといふ協働と団結と力です。14個出来ました。素晴らしいと思いました。

これからもゆつくりと前を向いて続けていけたらと思います。



《第65号》
平成23年8月1日 発行

発行／岡山県 里庄町議会
〒719-0398
岡山県浅口郡里庄町
TEL(0865)64-7217
FAX(0865)64-3618

編集／議会広報編集委員会

E-mail:gikai@town.satosho.okayama.jp

●あとかぎ

この春の改選にともない、議会広報編集委員会の構成メンバーも一部変わりました。

この4人と事務局職員1人で、これからの2年間、わかりやすく読みやすい議会広報を目指して頑張ります。

住民に開かれた議会が求められている現在、この議会広報紙がその一助になればと願っています。

(眞野)

編集委員

委員長：眞野博文 副委員長：小野光三 委員：岡村咲津紀 委員：仁科英磨

